

第2次南知多町 男女共同参画計画の 見直しについて

総務部企画財政課

○本計画の現状

- 2018年度（H30）から2031年度（R13）までの長期計画。
- 国の第4次基本計画や県のあいちプラン2020を参照し、町の総合計画など他計画との連携も意識して構成されている。
- 策定当時の意識調査では、家庭・子育て・介護の役割分担は【理想は共有】が多い一方で、実態では女性に偏りがある。

近年、国・県が重視する「防災」「意思決定層の女性参画拡大」「地域における女性の定着支援」「男性の育児参加促進」など、本計画に十分反映されていない。

○見直しで充実させる内容（1/2）

国・県の計画と本計画のギャップを埋めるために、以下の内容を拡充する。

1. 意思決定層への女性参画 -国のKPIに合わせ、町計画の目標値を上方修正
2. 男性の育児・家事参加 -国計画でポイントになっている
3. ワーク・ライフ・バランスの促進 -現時点で目標指標を達成している
4. 防災・災害対応へのジェンダー視点 -国計画でポイントになっている
5. 多様性に配慮した支援体制 -SOGI、高齢者、障がい者への支援など近年の動向を追加
6. 若者・女性の定住支援 -「地域働き方・職場改革等取組み」への参画についてを追加

※この他、前期計画に記載のある内容は現状と課題、今後の施策、実施施策を最新に更新する

基本目標

ともに認め合う
意識づくり

ともに進める
まちづくり

ともに支え合う
環境づくり

ともに進める
体制づくり

実施施策（見直しで拡充する内容は赤文字）

- ・意識向上のための啓発の推進（計画P.13～14）
- ・ライフステージに応じた情報提供の充実と学習・研修機会の提供
- ・保育・学校教育の場での男女共同参画意識の啓発
- ・個性や能力を尊重した指導の推進
- ・あらゆる暴力根絶のための啓発
- ・暴力相談窓口の充実

若者・女性の
定住支援

意思決定層への
女性参画

- ・住民のコミュニティ活動の推進
- ・各種団体の役員などへの性別によらない登用の推進（計画P.20～21）
- ・防災・災害対応へのジェンダー視点（計画P.20～21）
- ・定住につながる働く環境の整備、子育て支援の充実
- ・管理職などへの女性登用の推進
- ・人材育成セミナー等への参加の促進

多様性に配慮した
支援体制

- ・ワーク・ライフ・バランスに向けた情報提供の充実
- ・就労支援の充実
- ・働きやすい職場環境の推進（計画P.23～25）
- ・男性の育児参加の促進（計画P.23～25）
- ・子育て支援に関する情報提供の充実
- ・高齢者・障がい者に対する支援の充実（計画P.28～29）
- ・福祉・ボランティア活動の活性化促進
- ・健康支援の制度の充実
- ・母性保護、妊娠出産時の健康管理の充実

ワーク・ライフ・バランス
男性の育児・家事参加

- ・国や県、他の自治体との情報交換の推進（計画P.34）
- ・事業所、民間団体等との連携
- ・審議会等の委員就任要件の見直し
- ・計画の定期的な点検
- ・町民意識調査の実施
- ・住民との協働による事業の推進

若者・女性の
定住支援

○見直しで充実させる内容（2/2）

■□□□目標指標の達成状況

←	実績値（2017年）←	中間値（2025年）←	目標値（2031年）←
基本目標1← ともに認め合う 意識づくり←	目標指標：「男女共同参画」という用語を「知っている」人の割合←		
	27.2%←	目標値←	38.0%←
		実績値← 2025/12/1←	58.7%←
基本目標2← ともに進めるま ちづくり←	目標指標：法令・条例に基づく審議会等の女性の登用率←		
	16.5%←	目標値←	20.0%←
		実績値← 2025/4/1←	15.7%←
基本目標3← ともに支え合う 環境づくり←	目標指標：職員一人当たりの年次休暇の取得日数←		
	9.3日←	目標値←	11日以上←
		実績値← 2025/4/1←	15.4日←

・3つの目標指標のうち、目標値を達成している項目が2つ。

・基本目標4「ともに進める体制づくり」は目標設定がされていない。

⇒ 目標指標と目標値を見直す

○目標指標の設定（見直し後）

基本目標/年度	実績値（2025年）	目標値（2031年）
基本目標1 ともに認め合う意識づくり	目標指標：「社会全体として」男女平等であると感じる人の割合	
	25.6%	50%
基本目標2 ともに進めるまちづくり	目標指標：20代～30代女性の人口に対する転出超過の割合	
	36.9%	30.0%
基本目標3 ともに支え合う環境づくり	目標指標：南知多町役場男性職員の育児休業等取得率	
	51.6%	85.0%
基本目標4 ともに進める体制づくり	目標指標：法令・条例に基づく審議会等の女性の登用率	
	15.7%	40%以上60%以下

【基本目標1】ともに認め合う意識づくり

(旧) 目標指標：「男女共同参画」という用語を知っている人の割合



(新) 目標指標：「社会全体として」男女平等であると感じる人の割合

実績値 (2025年)	目標値 (2031年)
25.6%	30%

区分	全体		性別					
			男性		女性		回答しない	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
男性が優遇されている	15	11.3	5	8.1	10	15.4	0	0
どちらかといえば男性の方が優遇されている	65	48.8	27	43.5	36	55.4	2	33.2
差はない	34	25.6	19	30.6	14	21.5	1	16.7
どちらかといえば女性の方が優遇されている	8	6.0	6	9.7	1	1.5	1	16.7
女性が優遇されている	3	2.3	2	3.3	0	0	1	16.7
わからない	8	6.0	3	4.8	4	6.2	1	16.7
合計	133	100.0	62	100.0	65	100.0	6	100.0

「用語を知っている」だけではなく、自分ごととして捉え、南知多町の男女共同参画が促進しているかを測るため、『「社会全体として」男女平等であると感じる人の割合』を新しい指標とする

【基本目標2】ともに進めるまちづくり

(旧) 目標指標：法令・条例に基づく審議会等の女性の登用率



(新) 目標指標：20代～30代男女の人口に対する転出超過の割合

実績値 (2025年)	目標値 (2031年)
36.9%	30.0%

旧指標「法令・条例に基づく審議会等の女性の登用率」は、「基本目標4 ともに進める体制づくり」へ移行し、引き続き登用率向上を目指す

基本目標2では、若者の転出を減らす・転入を増やすことで、多様な人材が地域で活躍できることを目指していく

【割合の算出方法】

$(20代\sim30代男女の転出者数 - 20代\sim30代男女の転入者数) \div 当該年齢人口$

実績値(2025年)・・・ $(1032人 - 147人) \div 2400人 = 36.9\%$

※転出者数及び転入者数・・・2025年1月1日～12月31日

当該年齢人口・・・2025年1月1日時点

【基本目標3】ともに支え合う環境づくり

(旧) 目標指標：職員一人当たりの年次休暇の取得日数



(新) 目標指標：南知多町役場男性職員の育児休業等取得率

実績値 (2025年)	目標値 (2031年)
51.6%	85.0%

男性中心の労働慣行を見直し仕事と家庭の調和を図るため、育児関連の制度取得率向上を指標とする対象の制度…育児休業、部分休業、子育て部分休業、育児短時間勤務

【割合の算出方法】

4つの制度のうち、いずれかひとつ以上の制度を利用した人数÷いずれかの制度の対象者である人数
実績値(2025年)…16人÷31人=51.6%

※制度利用可能な人数は、複数の制度を利用できる場合、制度ごとに一人として計上しているため、実人数とは異なります。

【基本目標4】ともに進める体制づくり

(基本目標2から4に移行)

目標指標：法令・条例に基づく審議会等の女性の登用率

実績値 (2025年)	目標値 (2031年)
15.7%	40%以上60%以下

計画当初の目標値(法令・条例に基づく審議会等の女性の登用率:2031年時点で30%)は達成できておらず、また計画当初の実績値(2017年:16.5%)を下回っている状態

目標値を内閣府の目標値に合わせ上方修正し、女性の登用率向上を目指していく